

カタツムリは^かどう飼えばいいの

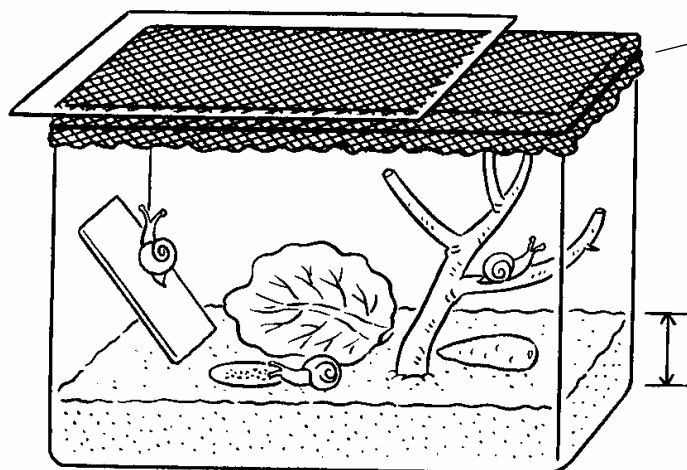
小型の水そう^{こがた すい}で簡単^{かんたん}に飼^かえる

容器^{ようき}は小型^{こがた}の水そう^{すい}が^いいでしょう。底^{そこ}には砂^{すな}や紙^{かみ}タオル^ををしいた^{ほう}が^いいでしょう。えさはキャベツ^{やさい}、レタス^き、ナス^はなどの野菜^{ある}や、木の葉^ををあ^たえます。歩^あきまわり^を、ぬ^るぬ^るした^もの^がつ^くので、1日^{にち}お^きく^らいに^{ようき}容器^{みず}を^{あら}水^をで洗^います。

ふた^けでしめ^り気^{ちようせつ}の調^{せつ}節^をを^する

容器^{ようき}の上^う全^{ぜん}体^{たい}を、金^{かな}あ^みで^おお^います。ガラ^すの^ふた^は、容^{よう}器^きよ^り少^{すこ}し^{ちい}小^せさい^もの^にし^ます。ふ^たで^容器^のと^のす^き間^をを^調節^しま^す。カ^タツ^ムリ^は、し^めり^気の^ある^所が^好き^です^が、狭^せい^よう^き容^器で^はす^き間^がな^いと、し^っ気^がこ^もり^すぎ^にな^りま^す。し^っ気^が多^いと、カ^タツ^ムリ^は、弱^よわ^って^しま^いま^すの^で、す^き間^で調^{せつ}節^しま^す。夏^{なつ}は、涼^{すず}しい^とこ^ろに^おい^てく^ださ^い。秋^{あき}から^ふゆ^さむ^{かん}そう^きせ^つから^いぐ^ちま^くは^{かつ}ど^う秋^{から}冬^の寒^い乾^燥する^季節^は、殻^の入^り口^に膜^を張^って^活動^をや^めま^す。

(監修・中山 周平)



金あみのほか、空気の通り抜けるふたなら何でもよい。カタツムリがはいまわるとぬるぬるして汚れる。汚れたら洗うか、取り替える。

5センチメートル

